

添削課題

解答例

You shouldn't worry so much about your language ability. Your interest in Japanese history will give you the motivation to study the language. If I were you, I would try to learn spoken Japanese as well. It would give you a natural feel for the language and also help you to make friends who can help you with your studies. [60 words]

解説

The following are expressions used to give advice:

- (1) You should try reading something that is not so difficult.
- (2) You ought to set a goal of learning one hundred characters a week.
- (3) Why don't you ask your teacher for some advice?
- (4) If I were you, I would join a study group so that I could get support from friends.
- (5) Giving advice is not the same as giving encouragement, though we often give both of them together. The examples above are advice. "Don't give up" is encouragement.

3章 総合問題3

問題

【1】

解答例

どんな平凡な物にも意義があり、然るべき見方をすれば、深遠な価値が見えるものだ。(39字)

別解

何事にも存在意義があり、正しく見れば、深遠で生気を帯びた価値と意義ある物になる。
(40字)

解説

(1) まず、論旨の展開は、下記の通り。

- ①私（＝筆者）はある日、自分の使っている電動歯ブラシが存外凝ったデザインであることに気づいた。
- ②同様のことは、使い捨てのかみそりにも言えた。
- ③それらがもし芸術作品のように展示されていたら、もっと素晴らしい物に見えていたであろう。
- ④どんな平凡な物も、然るべき見方をすれば、意義深く哲学的な視座ともなる、とトーマス・カーライルも言っている。

(2) 全文の内容は下記の通りに整理できる。

あらゆる物：どうということもない物に見える vs 素晴らしい物に見える

あるいは、下記のようにも整理できよう。

物の見方：無自覚的な（＝不適格な）見方 vs 適格（＝自覚的な）見方

〈↑物の意義が見えてこない〉 〈↑物の意義が見えてくる〉

(3) 字数制限が非常に厳しいため、これら2種類の見え方〔見方〕の両方を記すのは無理なので、前者の見え方〔見方〕は割愛し、本文の表現と同様、「後者の見え方〔見方〕の場合には…」というふうに、仮定の導入から結論を引き出す、という形に持ち込むしかない。それに気づかず、両方を盛り込もうとすると苦戦を強いられる。2つの点を両方書くだけの余裕がない場合の対処の仕方は次の通り。

例えば、

「Aは**大・重・強・明・新**であるが、Bは**小・軽・弱・暗・古**である」

と述べていられない場合は、

「Aと異なりBは**小・軽・弱・暗・古**である」

のように「…と異なり～は」という記述により、言及されない側についても間接的に触れることで、切り抜けることができよう。

(4) さらに、本問では、〈表現の重複・反復〉という観点から、以下に引用する最後の3つの文章がほぼ同じ形式と内容となっている、という点にも着目すべきである。

- ① If ~ my toothbrush or razor had been mounted on a base, ~

② Had they been (= If they had been) presented as works of art, ~

③ Rightly viewed (= If (it is) viewed rightly), ~

つまり、いずれも形式的には〈条件節+帰結節〉という構造となっているのである。ただし、内容的には前2者が、筆者の持っている電動歯ブラシとかみそりに即した具体的な陳述であるのに対し、最後の文は、極めて抽象的な記述なので、要約に際してはその最後の文を利用する。

全訳

先日、私はたまたま、自分の電動歯ブラシが、白地に、柄には握りやすくするための2本の縦の青いゴムの線が入ったものである、ということに初めて気づいた。歯ブラシを電源を入れたり切ったりするボタンも、同じ青いゴムでできていたし、ブラシ自体にも、それに合う青い部分が、そしてブラシの柄の底にも色のついたゴムの輪があった。これは、私が思っていたよりもはるかに入念に考え抜かれたデザインであった。同じことは、私の使い捨てのプラスチックのかみそりにも言えた。その優美な曲がり具合は、その頭部があたかも髭剃りという仕事に精を出そうとしているかの如き観を呈していた。もし私の歯ブラシもかみそりも土台にのせられていたとしたら、彫刻作品としてたぶん、資格を与えられていただろう。もし芸術作品として展示されていたならば、私は1つの物体以上の物、形体が自らの生命を得て不滅の価値を創り出すという点で一層深みを伴った物を見ていたことであろう。「正しく観察されれば、どんなに平凡な物でも、意義をもつ。すべての物は、窓のようなものであり、それを通して哲学的視点が無限そのものをのぞきこむのだ」と、トーマス・カーライルは著書『衣装哲学』の中で書いている。

【2】

解答

- (1) d (2) e (3) b (4) a (5) e
(6) a (7) b (8) c (9) c (10) c

解説

- (1) ○ homework は不可算名詞。したがって many は使えず、a lot of homework を選ぶ。
○ a lot of は可算名詞にも不可算名詞にもつけることができる。アメリカでは「宿題」のことを assignment と言うことが多い。Assignment は可算名詞なので要注意。
cf. I have a lot of assignments.
○ また、homework は「予習」「準備」の意味合いで用いることも多いということも頭に入れておこう。
cf. Many of the academics involved are would-be Kissingers. But they don't do their homework. (For Eastern Economic Review Nov.4, 1977)
(関与している学者先生の多くは、キッシンジャーの果たした役割を夢見ている。だが、連中ときたらいかにも準備不足・勉強不足である。)
○ homework =
① schoolwork assigned to be done outside the classroom
② through study of a subject by way of preparation

- (2) ○ 「川へ泳ぎに行く」は go swimming in the river であって、決して go swimming to the river とは言わない。go swimming to the river とすると「川に泳いで行った。」という奇妙な意味を表すことになる。
- go + swimming in the river と考えよう。
- (3) ○ with には「道具・手段」を表す用法があり、それが本問。
with a dull knife 「切れないナイフで」
cf. wash *with* soap and water (石鹸で洗う)
- (4) ○ medicine は英語では take するものなので、take medicine と覚えておこう。ただし、take *one's* medicine とすると、「甘んじて苦難に耐える」という比喩的な意味になる場合がある。このようなひとひねりした比喩的なイデオロギイはミッション系の私立大学で狙われることが多い。
- take *one's* medicine = accept the punishment or the bad fortune that *one* deserves
cf. I know I did wrong, and I know I have to *take my medicine*.
(私が悪かったことはわかっているし、罰を受けねばならないこともわかっている。)
- (5) ○ 「注意を引く」「人目を引く」「目にとまる」という日本語に対応する英語は attract *one's* attention である。
- attract = draw someone or something closer; get the attention of someone or something
cf. The sculpture *attracted* pedestrians, and a crowd formed around it.
(その彫刻は歩行者の目を引き、その周りに人の群れができた。)
- (6) ○ the recent trade problem (最近の貿易問題) という目的語が直後にきているので、他動詞を選ぶ。discuss は「～について論じる」という意味の他動詞である。
- tell は tell + 人 + ～ 「人に～と言う」で用いるのが基本。また、discuss about という英語はない。
- (7) ○ 「明日子供たちをお宅に連れていきます。」という意味の文にする。
- 話し手がいる場所に物を持って来たり、人を連れて来る時は bring, 話し手がいる場所から離れた場所に物を持って行ったり、人を連れて行く時は take を用いるのが基本。したがって、**b** が正解。
- take A to B 「A を B へ連れて [持って] 行く」と覚えておこう。
- (8) ○ 日本語の「料金」に対応する、または関連する英語には注意が必要。bill は「請求書」「札」「手形」、price は「値段」「価格」、fare は「運賃」、change は「小銭」「釣銭」、fee は「医師・弁護士などの専門職へ払う謝礼金や入場料の料金」。本問では、バス料金のことなので、*the fare* が正しい。
- その他の関連語をあげておく。
- tuition 「授業料」
 - wage 「賃金」
 - tax 「税金」
 - bribe 「賄賂」

- (9) ○ 「～までには」 = by ～, 「～までずっと」 = till [until] ～ と覚えておく。
 ○ 本問では、「5時までには, この仕事を終えなくてはならない」のだから, by が正しい。
 cf. I'll be here *by* five. (5時までにはここに來ます。)
 I'll be here *till* five. (5時までずっとここにいます。)
- (10) ○ pass A B = pass B (on) to A 「A (人) に B (物) をまわす」という表現を知っているかがポイント。なお, この文での塩は, 塩一般を言っているのではなくて, 目の前の塩だから the がついている。

【3】

解答

「全訳」下線部参照。

全訳

フレッドとアンは, アンの健康診断のためにミネアポリスへ向かって高速道路を走っていた。彼女は癌について多くのことを新聞で読んでおり, 自分が癌かもしれないと心配していた。もっとも, かかりつけの医者は彼女に何ともないと言っていたのだが。その日は寒く, 雨が降っており, 道路の状態はひどかった。巨大なトレーラーが轟音をとどろかせて彼らを追い越した。フレッドは①「僕が決めてよいのなら, Uターンして家へ帰りたいんだが。」と言った。

それは言うべきことではなかった——アンの今の精神状態では。②しかし彼女は彼がそう言うだろうとすでに予期していたので, その場合に備えて言うべき言葉を頭の中に準備していた。「ええ, どうぞ。あなたは引き返したいのでしょうか。どうでもいいのね。あなたは少しも心配してくれないし, 今までだって一度として心配してくれたことがないわ。だからあなたが今心配してくれなくても, 私は驚かないわ。あなたは私が生きようが死のうがどうでもいいのよ。」

注

- ℓ. 1 ◇ were driving (on the expressway) to Minneapolis
 ○ expressway = an urban motorway (高速道路)
 cf. highway = a public road (幹線道路)
 ※ highway は日本語の「ハイウェイ」よりも意味が広く, わが国の県道や国道に相当することも多い
 ◇ check-up = thorough examination
- ℓ. 2 ◇ cancer U 「ガン」
 ◇ having read ～ [完了分詞構文]
 ◇ the disease = cancer
- ℓ. 3 ◇ hometown = the town of *one's* birth or early life or present fixed residence
- ℓ. 4 ◇ huge = extremely large
 ◇ trailer = a truck pulled by another vehicle
 ◇ roar = utter or make a roar (roar = long loud deep sound (as of a lion; of thunder; of a person in pain))

- ◇ if ~ was ..., I'd ...
- 仮定法過去 (= Subjunctive Past)
- it [状況]
- be up to ~ = be left to (someone) to decide
- would (just) as soon A (as B) = would sooner [rather] A (than B)
- 元来この soon は「すすんで；喜んで (= readily willingly)」の意で would は「欲する」の意の動詞である。
「どちらかといえば (Bするより) A したい」
A, B は動詞の原形。
- turn around = face in the opposite direction
- ℓ. 6 ◇ It = "If it was up to me, I'd just as soon turn around and go home."
- ◇ with Ann in the mood (that) she was in
- with + O + C : 付帯状況の with
- ℓ. 7 ◇ in case = ① *so as to be safe if* 「～の場合に備えて」
② if 「～の場合に」
- ◇ of course: a polite way of agreeing with someone
- ℓ. 8 ◇ care = be worried or concerned
- ◇ one tiny bit : 副詞相当語句
cf. a little bit / tiny = very small
- ℓ. 9 ◇ you never have (cared)
- ◇ I'm not surprised (that) you don't (care) now.

【4】

解答

- (1) **b** (2) **b** **a** (c) **d** (3) Nothing (4) **c, e**
 (5) 「彼はどうやって臭いを嗅ぐのか。／彼はどんな臭いがするのか。」
 (6) **a** (7) 死刑に反対する人々に対しては (8) **b** (9) **a**

解説

- (2)
- (b) aim (= something that you intend to do or achieve)
 - (c) termination < terminate = end or make something end
- (4) **a** 我々はあなたの手紙に対して正直に返答するだろう
b 我々はあなたの手紙に対する返答においてあなたに良き助言をしよう
c あなたの手紙は注意深く考慮されよう、なぜならそれは重要であるから
d あなたの手紙は慎重に取り扱われよう、なぜならそれは何らかの問題を引き起こし得るから
e あなたの手紙は真面目に受け取られないだろう、なぜならそれはそれについて煩わされる価値はないから
- about の目的語は it (= your letter)。

- bother about = trouble oneself about
- (5) i) どうやって彼は臭いを嗅ぐのか。
○ smell = perceive odours
ii) どのように彼は臭うか。
○ smell = emit an odour
- (6) ○ in doubt = uncertain; undecided
a もしあなたが何を言うべきか自信がなければ
b もしあなたが不正直を疑われているならば
○ suspect A of B 「A を B に関して疑う」
c もしあなたがだまされることを恐れているならば
d もしあなたが自分が選ばれるとは思わなければ
- (7) ○ to those (who are) against (the death penalty)
- (8) a indefinite [ɪndɛfənət] = vague [vɛɪɡ]
d utterly = completely
- (9) a もしあなたが政治家であれば、あなたはすでに多義的表現に巧みであるに違いない。
b あなたは政治の世界において多義的表現の技術を知る必要はない。
c あなたは議会に入る以前に多義的表現の技術を勉強しておくべきであった。
○ should have *done* 「…すべきであった (のにしなかった)」
d もしあなたが政治家になるに足るだけ賢ければ、多義的表現に訴える必要性はまったくない。
○ resort to ~ = turn to ~ for help

全訳

多義的表現とは言葉を曖昧に用いることを意味する。しばしば他人を欺く目的を持ってなされるが、その表現を用いている本人をも欺き得る。多義的表現は言葉が2つ以上の意味を持って用いられる際に生じる。もっとも健全な論理的思考は同一の用法が一貫して維持されることを要求するけれども。

「幸福は人生の end (目的) である。
人生の end (終局) は死である；
よって幸福は死である」

「半斤のパンは無に勝る。
健康に勝るものはない；
よって半斤のパンは健康に勝る」

多義的に言葉を用いると誤解を招き易いが、それはそれによって我々に1つの概念に当てはまる事柄を、たまたま同一の名称を持つ別の概念に転嫁させるからである。論理とは複数の概念の間の関係を扱うものであるが、もしその概念自体が変化するならば無益となる。

「象は英国には棲息していない。したがって、もしあなたが1頭を所有しているならば、それを失ってはならない。さもなければ、あなたはそれを二度と見つけられないだろう。」
(found という言葉は2つの異なる概念をここでは表す)

多義的な用法の多くは発見しやすい。しかし発見し難いものは、それよりもずっと多い。易者は多義的な表現の専門家であるが、それは事態が彼らの予想とは異なっていることが判明した場合に、自分の身を守るためにである。政治は多義的表現が使えなければ、今日の形態とはまったく異なる技芸となっているであろう。それは商用文も同じである。

「貴殿の書信はそれが受けるに値するだけの配慮を受けるであろうということを貴殿は確信していられますよう。」
(それが緩やかな曲線を空中に描いて紙くずかごへと向かいながら)

「スミス氏を雇われる方はどなたであれ真に幸運でありますよう。」

語呂合わせや寄席の笑い話はしばしば多義的表現に依存する。

「うちの犬には鼻がない。」
「①彼はどうやって臭いを嗅ぐのか／彼はどんな臭いがするののか。」
「ひどい臭いがするんだよ！」

審査委員会に直面している政治家の候補者に与えられる助言は、「迷っている時には多義的表現を用いよ」である。単純明瞭な事実、人はあらゆる人間を、常に満足させることは不可能であるが、彼らのうちの大半を大半の時間に渡って欺き通すことは十分に可能であるということである。その候補者は死刑を支持する人々には、自分は殺人に対しては「現実的な」刑罰を求めると言って安心させる。①死刑に反対する人々に対しては「人道的な配慮」を求めると言う。しかし彼は社会の現実に則した軽い刑罰を支持しているのかもしれないし、また苦痛を伴わない死刑を支持しているのかもしれない。

多義的表現は、国家間の不協和音という亀裂に流し込むにはとりわけ強力な接着剤となる。それは修復不能な溝を埋め合わせて、滑らかで埋め跡が目立たない仕上がり状態を生み出す。多くの「十分にして腹蔵のない」議論は、2国〔多国〕間の共同条約の出現によって円満に終えられるが、その条文の文言は、調印した各国にまったく異なる内容を意味するように慎重に選ばれている。

多義的表現の語彙は、国会議事堂の上下両院の傍聴席から習得できる可能性もある。もしあなたが既に議会に議席を持っているならば、それについてあなたが学ばなければならないことは何もない。

注.....

- ℓ.1 ◇ equivocation < equivocal = of double or doubtful meaning
- ◇ ambiguously = in an ambiguous way

< ambiguous [æmbɪɡjuəs] = having more than one meaning ;doubtful meaning
cf. ambivalent [æmbɪvələnt] = having mixed feelings or contradictory ideas about something or someone

◇ intent = intention; purpose < intend

ℓ. 2 ◇ deceive = make somebody believe something that is not true

ℓ. 3 ◇ the soundness of the reasoning 「論理的思考の健全さ」

○ reason = use *one's* power to think, understand, etc.

○ soundness < sound = healthy

ℓ. 4 ◇ require that ~ be ... = require that ~ should be ... 《仮定法現在》

○ require = demand

ℓ. 9 ◇ loaf = an amount of bread that has been shaped and baked in one piece

ℓ. 13 ◇ transfer = change (the sense of a word or phrase) by extension or metaphor

◇ be true of ~ 「~に当てはまる」

ℓ. 17 ◇ or = if not; otherwise

ℓ. 19 ◇ represent = stand for; correspond to

ℓ. 20 ◇ spot = catch sight of (盲点) cf. locate = find the exact position of

◇ Many more of them are not (easy to spot) .

○ them = the equivocal uses

ℓ. 21 ◇ fortuneteller < fortune = person's destiny or future

◇ specialize in = be a specialist in

◇ in case = if

◇ turn out (to be) C = prove (to be) C 「Cであるとわかる」

ℓ. 22 ◇ otherwise = in a different way

◇ ... would ... if ... had ... 「仮定法過去」

◇ art = any field using the skills or techniques of art

ℓ. 23 ◇ so + would + S 「Sもそうであろう」

◇ correspondence = mail < correspond = communicate by letters

cf. *correspondence* course (通信教育講座)

ℓ. 24 ◇ rest = remain

◇ assure = make (someone) sure

◇ deserve = be worthy of

ℓ. 25 ◇ gentle = moderate; not severe or drastic

ℓ. 26 ◇ Anyone who gets Mr. Smith to work for him ...

○ get O C / C = to work for him/ him = anyone

※ 意味：社交上の配慮が優先する「ビジネス」の場における多義的表現が2例示される。前者 (You can ...) が劣った文書, 後者 (Anyone ...) が劣った人物に対する論評で, 論評者は直截に劣っているとは言えないがために良否の評価を含まない美辞麗句を弄することになる。

ℓ. 28 ◇ pun = the humorous use of a word that has two meanings 「だじゃれ」

- ◇ music hall 「寄席；演芸場」
- ℓ. 34 ◇ selection committee 「審査委員会」
- ℓ. 35 ◇ not … all 《部分否定》
- ℓ. 36 ◇ fooling most of them for much of it
 - them が the people に, it が the time に対応する。
 - fool = deceive; trick
- ℓ. 37 ◇ those in favor of …
 - those = the people
 - in favor of = in support of
 - ◇ death penalty = capital punishment 「死刑」
 - ◇ realistic =
 - ① accepting in a sensible way what it is actually possible to do or achieve in a particular situation
 - ② sensible and appropriate
 - ③ representing things as they are in real life
 < realism 「現実主義」
- ℓ. 38 ◇ humane = showing sympathy, kindness or understanding
 - ◇ he could be in favor of …
 - could : 仮定法／婉曲
 - in favor of ~ 「～に賛成して」
- ℓ. 39 ◇ sentence = punishment given by a law court
 - ◇ humane killing 「安楽死」 < humane = causing as little pain as possible
- ℓ. 40 ◇ paste = adhesive; glue; gum
 - ◇ pour = cause (something) to flow
 - ◇ crack = a narrow opening (formed by a break)
- ℓ. 41 ◇ discord = disagreement
 - cf.* accord; concord ≡ agreement (和)
 - ◇ irreconcilable < reconcile = become friendly again
 - cf.* council (協議会；招集されて集められた者たち)
 - ◇ undetectable = that cannot be detected < detect = discover
 - cf.* detective = policeman
- ℓ. 42 ◇ terminate = bring (something) to an end
 - ◇ appearance < appear = come into view
 - ◇ joint = held by two or more persons
 - ◇ treaty = a formal agreement between two or more countries
 - ◇ whose < a joint treaty
 - ◇ wording = words used to express something
- ℓ. 45 ◇ gallery = a balcony, especially a platform or an upper floor, from which activities in the hall may be watched

◇ the Houses of Parliament = the House of Lords + the House of Commons 「国会
議事堂 = 上院 + 下院」《英国》

【5】

解答

「全訳」下線部参照。

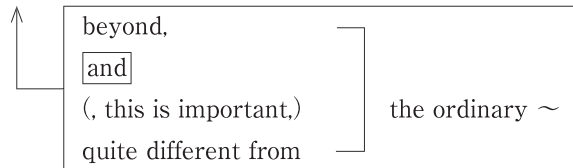
全訳

科学は、自然の美と神秘とを冷淡で無感情なものに引き下げてしまったと、かくも頻繁に非難されてきている。科学が玄関から入ると、魅惑が窓から逃げて行くとも言われてきている。今日、ニュートンの時代以降、我々のために綿密に築き上げられた古典物理学と呼ばれている世界は、揺るぎなく決定的に見えるという利点を持っていた。なぜリングが木から落ちるかを理解し得る者は誰でも、その軌道上をたどる星々の運行を理解し得るように思われていた。①この点では、宇宙は、詩人には自分の期待に応えてくれぬ存在に思われよう。我々科学者たちは、今では物事をこのように説明することを決定的と見なすことがいかに誤解を招くものであったかを知っている。我々科学者たちは実際には、時に我々にその存在を帰せられてきたような宇宙に住んでいるわけではない。探究する場合、原子の中心から宇宙の果てまでにわたる現代科学に関して、最も注目すべき事実は、もしかしたら②詩と同様に、科学も我々が慣れ親しんでいる当たり前の日常世界の向こう側にあり——しかも、次に述べるのが重要なことなのだが——そうした当たり前の日常世界とはまったく異なる、深遠で神秘的な現象を明らかにするということかもしれない。科学がかつて宇宙から奪い去ってしまったと思われていた、無尽蔵な豊かさや、意外性や、驚異から成る特質を、科学は宇宙に対して返してしまったといっても差し支えなからう。

注

- ℓ. 1 ◇ accuse A of B = say A has done B (something wrong)
◇ reduce A to B 「A を B (好ましくない状態) にする」
- ℓ. 2 ◇ mechanical = without feeling
◇ When science enters the door, enchantment, it has been said, flies out of the window.
≡ It has been said that, when science enters the door, enchantment flies out of the window.
○ enchantment = delight or pleasure < enchant = charm; delight; fill with pleasure
- ℓ. 3 ◇ classical physics 「古典物理学」
◇ as
○ as ~ onwards が what is now called classical physics を修飾している。
cf. City life (.) as you know it (.) is not good for your health.
(あなたが知っているような都会生活は健康によくない。)
- ◇ it = what is now called classical physics
- ℓ. 4 ◇ from ~ onwards 「～以降」
◇ map out = plan (carefully); organize
◇ have the advantage of ...ing 「…することに関する優位性を持つ」

- ◇ solid = firm and well made; reliable
- ℓ. 5 ◇ final = conclusive;decisive
 - ◇ Anyone, it seemed, who could ... ≙ It seemed that anyone who could ...
- ℓ. 6 ◇ in this light 「この観点において」
 - light = aspect
 - ◇ might well ... ① 「たぶん…かもしれない [だろう]」
 - ② 「…はもっともだ」 < may well ...
 - ※ 米国人インフォーマントによると、ここでは①の意味である。
 - ※ この well は副詞で、might を強調している。
 - ◇ seem (to a poet) to fail to ...
 - fail to ... = be unable to ...
- ℓ. 7 ◇ come up to = reach
- ℓ. 8 ◇ this account of the matter
 - < account for the matter in this way (物事をこのように説明する) の名詞構文。
 - account for (= explain) であるが、名詞化された場合 this account of the matter のように、受け継ぐ前置詞が変化している点に注意。
 - ◇ inhabit = live in
 - ◇ the kind of universe which has sometimes been attributed to us
 - 「時に我々にその存在を帰せられてきているような宇宙」→要するに「科学者が切り開いて来た宇宙」ということを意味している。
 - which : 先行詞は the kind of universe
 - a kind of ~ 全体が先行詞なので、the kind of ~ which ... (…のような～) となったパターン。このパターンは、2008 年度の東大で、2 度問われている。
 - attribute [ə'trɪbjʊ:t] A to B = regard A as belonging to B (A という性質が B に属すると考える)
 - cf. attribute [æ'trɪbjʊ:t] 「属性」 (= a characteristic quality)
- ℓ. 9 ◇ striking = impressive; attracting attention
- ℓ. 10 ◇ exploration < explore = examine thoroughly 「～を探究する」
 - ◇ range from A to B 「(範囲が) A から B に渡る」
 - ◇ heart = the center
 - ◇ frontier = the extreme limit of understanding or achievement in a particular area
- ℓ. 11 ◇ it reveals *depths and mysteries*



- reveal = show; display
- the ordinary matter-of-fact world (that) we are used to
 - この部分が beyond; quite different from 双方の目的語を成し、その双方が

depths and mysteries を修飾する

- beyond 前置詞 = outside the range or limit of
- matter-of-fact = practical; unimaginative
- ℓ. 13 ◇ give A back to B 「A を B へ返す」
 - A = that quality of ~ / B = the universe
 - ◇ might … 仮定法；婉曲
 - ◇ that quality of ~
 - of 《構成要素》
 - ◇ inexhaustible = never ending because available in unlimited qualities
- ℓ. 14 ◇ which：先行詞は that quality of ~ and wonder
 - < at one time *science* seemed to have taken *that quality* away from the universe
 - that は訳出しない。
 - ◇ at one time = formerly

文章の構成

前半部：科学者が自然の神秘を明かしてしまった結果、自然は詩人の創造力に訴える力を失ってしまった。

後半部：それは誤りである。

- i) 科学者として無味乾燥な散文的世界に住んでいるわけではない。
- ii) 科学者もまた詩人と同様に、日常世界を超越した謎と神秘とを扱う。

【6】

解答

- (1) One of the surprising facts about global warming is that it could actually result in global (cooling).
- (2) Europe's generally mild climate results from currents of warm water flowing north from the (tropics/equator) like a giant river.
- (3) Around Greenland, the water sinks to the bottom of the ocean and then starts (flowing) back to the equator.
- (4) If the water stops sinking around Greenland, the (b cycle) will stop and Europe will become cold.
- (5) Evaporation causes the water to become (saltier) and (heavier) as it flows north. When the salty water gets heavy enough, it sinks.
- (6) Global warming could (prevent/stop/keep) the water from becoming salty enough to sink. This would cause the warm ocean currents to stop flowing.
- (7) Global warming could (decrease/reduce) the saltiness of water in the North Atlantic by causing more rain to fall in the northern parts of the world and by (melting) the ice around Greenland.
- (8) These changes could (c result in a much colder climate).

CD 1 11~13

For the last thirty-five years or so global warming scientists have warned that the earth's climate is gradually getting warmer and that we need to prevent greenhouse gases from warming the earth too much. The predicted results include raising the sea level, destroying habitats, strengthening storms and damaging agriculture. One of the surprising 5 facts about global warming, however, is that it could actually result in the earth's becoming colder.

In order to understand how this could happen, it's necessary to consider how heat is distributed throughout the earth. The hottest parts of the earth are, of course, near the equator. However, some northern parts of the earth are surprisingly warm. Most of the 10 major cities of western Europe lie much farther north than the major cities of North America and Asia, yet these European cities are fairly warm and Europe in general has a mild climate that can support agriculture. The reason that Europe has such a mild climate is that currents of warm water from the tropics flow north through the Atlantic Ocean and warm the air around Europe. It's possible that global warming could cause these currents 15 to stop flowing, thereby giving Europe a very cold climate.

How could future global warming alter these ocean currents which keep Europe warm? To answer this question we first have to consider the way the ocean currents behave now. The warm currents start near the equator and flow north on the ocean's surface toward Europe like a giant river. When the water reaches the North Atlantic, around Greenland, it 20 sinks to the bottom of the ocean and then starts flowing back to the equator. This constant cycle of water flowing back and forth from the equator to the North Atlantic keeps Europe warm. If, for some reason, the water stops sinking around Greenland, the cycle will stop, and Europe will become cold.

The water sinks near Greenland because it becomes heavier as it moves northward. 25 As it flows north, some of the water evaporates. The remaining water becomes saltier and

therefore heavier than the colder water below it. When the salty water gets heavy enough, it sinks. Some scientists believe that global warming could prevent the water from becoming salty enough to sink. This would cause the warm ocean currents to stop flowing.

Why would global warming decrease the saltness of water in the North Atlantic? Two
30 possible reasons have been suggested. One reason is that warmer temperatures could
cause more rain to fall in northern parts of the world. If this rain (which is, of course, fresh
water) falls in the North Atlantic, the water there will become less salty and it will not sink.
The other possible reason is that warmer temperatures will cause the ice around Greenland
to melt. This fresh water will also decrease the amount of salt in the water around
35 Greenland.

Of course, not only Europe would be affected by these changes in climate. It's possible
that the entire world could become much colder as a result. (501 words)

全訳 |||

ここ 35 年ほどの間、地球の温暖化を調査している科学者たちは、地球の気候は次第に温暖化しており、温室効果ガスが地球を過度に温めるのを防ぐべきだと警告してきた。その結果予想されるのは、海面上昇や動物たちの生育環境の破壊、暴風雨の激化、農業への打撃などである。しかし、地球の温暖化に関して驚くべき事実の 1 つは、それが実際は地球の寒冷化につながるかもしれないということである。

どうしてそうなるのかを理解するためには、熱がどのように地球全体に伝わるかを考える必要がある。地球上で最も暑いのは、言うまでもなく、赤道付近である。しかし、北の方でも意外に暖かい所もある。西ヨーロッパの大都市の多くは、北米やアジアの主要都市に比べてずっと北に位置しているが、これらの都市はかなり暖かく、ヨーロッパ全体も農業ができるほど温暖な気候である。ヨーロッパの気候がこのように温暖な理由は、熱帯地方からの暖かい海水の流れが大西洋を通過して北の方に流れてきて、ヨーロッパ上空の大気を暖めるからである。地球の温暖化によって、この海流の流れが止まり、その結果、ヨーロッパの気候が非常に寒冷になるということもありうる。

地球の温暖化が将来、ヨーロッパを暖かく保っている海流を変えるとということがどうして起こるのだろうか。この疑問に答えるには、大洋の海流が現在どのように流れているのかをまず考察する必要がある。暖流は赤道付近から北に向かってヨーロッパの方へ、海面を巨大な川のように流れる。この流れが北大西洋のグリーンランド付近に達すると、海の底に沈み、また赤道の方向に流れ始める。このように赤道と北大西洋の間を絶えず海水が行ったり来たり流れるという循環によって、ヨーロッパが暖かく保たれている。もし何かの理由で、グリーンランド付近で海水が海底に沈まなくなると、この循環が止まってしまう、ヨーロッパは寒冷化

するのである。

海水がグリーンランド付近で沈むのは、北の方へ流れるにつれて重くなるからである。北へ流れていくうちに、海水はいくらか蒸発する。残った海水の塩分は高くなり、したがって、それより下にある冷たい水よりも重くなる。そして、塩分が一定以上になると沈むのである。科学者の中には、地球の温暖化によって、海水の塩分が十分に高くなり沈まなくなると考える者もある。これによって、暖かい海流が止まってしまうのである。

地球の温暖化によって、北大西洋で海水の塩分が低くなってしまうのはなぜだろうか。2つの理論上可能な理由が提唱されてきた。1つは、気温が上がると、地球の北の方で降る雨の量が増える。この雨が（もちろん塩分を含まないが）北大西洋に降ると、海水の塩分が低くなり、沈まなくなるのである。もう1つ考えられる理由は、気温が上がることによって、グリーンランド付近の氷が解ける。その解けた真水によって、グリーンランド付近の海水の塩分が低くなるのである。

もちろん、気候の変化によって影響を受けるのはヨーロッパだけではない。地球全体がずっと寒くなる可能性もあるのだ。

注

- ℓ. 1 ◇ have warned that … 「…ということを警告してきた」
- ℓ. 2 ◇ greenhouse gas : 「温室効果の原因となる気体（特に二酸化炭素）温暖化ガス；温室効果ガス」
- ℓ. 3 ◇ predicted results 「予想される影響 [結果]」
- ℓ. 4 ◇ habitat 「生息環境；生息地」
 - ◇ strengthening storms 「より激しい嵐が起こること」
 - ◇ one of the surprising facts about ~ is that … 「～に関して驚くべきことの1つは…である」
- ℓ. 5 ◇ it *could* result in the earth's …*ing* 「それによって地球が…することになり得る」
- ℓ. 7 ◇ how this *could* happen 「どのようにこれが起こり得るか [実際には起こっていないことなので、文章全体を通して仮定法が多く用いられている]」
- ℓ. 8 ◇ distribute ~ 「～を分配する；分ける」
- ℓ. 9 ◇ equator 「赤道」
- ℓ. 10 ◇ lie much farther north than ~ 「～よりもずっと北に位置している」
- ℓ. 13 ◇ current 「(水・空気などの) 流れ」
- ℓ. 14 ◇ cause ~ to … 「～が…する原因となる」
- ℓ. 17 ◇ the way the ocean currents behave 「海流がどのように流れるか (ということ)」
- ℓ. 21 ◇ back and forth 「行ったり来たり；往復して」
- ℓ. 22 ◇ for some reason 「何かの理由で」
- ℓ. 25 ◇ evaporate 「蒸発する」
- ℓ. 27 ◇ prevent the water from becoming salty enough to sink 「水が沈むほど塩分を含まなくなる → 水の塩分が高くなるので沈まなくなる」

解説

(1) 正解 : *cooling* この設問では、内容を理解するだけでなく、読み上げられる文章と

問題用紙の要約文の違いを認識することが求められる。以下を比較してみよう。

Question: … it could actually result in global *cooling*.

(これは実際には地球寒冷化を招くかもしれない。)

Script (ℓ. 5): … it could actually result in the earth's becoming *colder*.

(これは実際には地球が寒冷化する結果を招くかもしれない。)

cold は動詞ではないので *-ing* 形はないから *colding* は不可。 *cool* は形容詞にも動詞にもなる。

cf. It was a *cool* day. (*adj.*) (寒い日だった。)

The evenings get rather *cool*. (*adj.*) (夕方には幾分涼しくなる。)

The pie is *cooling* on the kitchen table. (*v.i.*) (台所のテーブルの上でパイが冷めている。)

They *cooled* their feet in the mountain stream. (*v.t.*) (彼らは山の小川で足を冷やした。)

自動詞としては、*cool* は become colder 「冷える；涼しくなる」という意味。

- (2) 正解：*tropics/equator* この説明に答えるために必要な情報はℓ. 12~14 および ℓ. 18~22 に見い出される。*tropics* 「熱帯地方」は赤道近くの地域を指すので、答えは *tropics* または *equator* 「赤道」のどちらも可。
- (3) 正解：*flowing* 答えはℓ. 20にある。この文章中のキーワードは *flow* で、ℓ. 13 と ℓ. 18 に見られる。*flowing* という語形ではℓ. 20, 21, 28 に登場している。
- (4) 正解：**b** *cycle* 答えはℓ. 20~23 に見つけられる。
- (5) 正解：*saltier, heavier* 答えはℓ. 25~26にある。この2つの答えは文法的には入れ替え可能だが、論理的には不可。水は塩分が高くなるから重くなる。原因は結果より先に起こるから、この文では *heavier* の前に *saltier* がくるべきである。
- (6) 正解：*prevent/stop/keep* ℓ. 27~28 に答えがある。これはこの文章の要点である。
- (7) この文はℓ. 29~35 に見つけられる情報をまとめたもの。

正解：*decrease/reduce* この空欄を埋めるために必要な語はℓ. 34に見られるが同意語を入れても構わない。

正解：*melting* この空欄を埋めるのに必要な語はℓ. 34にあるが、語形は変えなければならぬ。以下を比較してみよう。

Question: … by causing more rain to fall in the northern parts of the world and by *melting* the ice around Greenland

(地球の北部により多くの雨を降らせ、またグリーンランド周辺の氷を溶解させることで)

○ cause A to B 「A に B させる」は *to* 不定詞を必要とするパターン。

Script (ℓ. 30) : … could *cause* more rain *to* fall (…はより多くの雨を降らせる)

(ℓ. 33) : … will *cause* the ice around Greenland *to* melt (…はグリーンランド周辺の氷を解けさせる)

○ *by* は名詞や動名詞などの目的語を必要とする前置詞。

- (8) 正解：**c** *result in a much colder climate* 答えは ℓ. 37 に見つけられる。

【7】

解答

- (1) a F b T c F d F e T
 (2) b

解説

- (1)
 a 1行目 A pretty, well-dressed young lady stopped a taxi in a big square と矛盾。
 b 2行目の “Do you see that young man at the other side of this square?” の質問に “Yes” と答えているので、一致する。
 c 4行目 looking *impatiently* at his watch と矛盾。
 d 7行目の “Are you afraid to cross the street?” に “Oh, no!” と答えているので矛盾する。
 e 8行目 I said that I would meet that young man for lunch at one o'clock と一致する。
 (2) 9行目 it is now a quarter to two より 「2時15分前→1時45分」

全訳

きれいな、服装のきちんとした、若い女性が大きな広場でタクシーを止めて、運転手に「この広場の向こう側にいるあの若い男性が見えますか。」と尋ねた。

「ええ。」とタクシーの運転手は言った。その若い男は、レストランの外に立って、数秒ごとに、いらいらしたそぶりで、腕時計を見ていた。

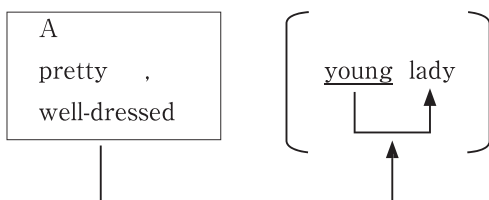
「あそこまでお願いします。」とその若い女性が言った。

広場の中は、たくさんの、車やバスやトラックが走っていたので、タクシーの運転手は「怖くて通りを横断できないのでいらっしゃるのですか。」と尋ねた。

「えっ、とんでもないですわ！ そうじゃなくて、私、45分も遅刻しているんです。あそこに見える青年と1時に昼食の約束をしていたのですが、もう2時15分前なんです。タクシーで到着すれば、少なくとも遅れすぎないように努力したようには見えるでしょう。」

注

0.1 ◇ A pretty, well-dressed young lady



○コンマ(,)はandの代わりとして用いられているが、最近の英語では、コンマを用いる方が普通。well-dressedとyoungの間にコンマがないのはpretty, well-dressed全体がyoung lady全体を修飾しているから。

○pretty = attractive, pleasing, charming, but less than beautiful

○well-dressed = wearing attractive and fashionable clothes

◇stop = put an end to the movement or progress of a person, object, event, etc.

◇square = a four-sided space in a city, often used as a public garden; such a space together with the streets surrounding it

cf. Times Square (タイムズスクエア) ※ニューヨークにある

Trafalgar Square (トラファルガースクエア) ※ロンドンにある

ℓ. 2 ◇ side = the edge of something, away from the middle

ℓ. 3 ◇ outside = on the outer side of

ℓ. 4 ◇ looking (impatiently) at his watch

○ impatiently < impatient = annoyed because something is not happening as quickly as one wants or in the way one wants

◇ every few seconds 「数秒ごとに」頻出

○ 〈every + 基数詞 + 複数名詞〉 〈every + 序数詞 + 単数名詞〉 「～ごとに」

○ every: used for showing how often something happens or how far apart things are, especially when there is a regular time or distance between them

cf. You should take one of these pills *every six hours*.

(6時間ごとにこの薬を1錠ずつ飲みなさい。)

My grandfather has a physical checkup *every three months*.

(私の祖父は3カ月ごとに健康診断をうけている。)

The Olympic Games are held *every fourth year*.

(オリンピックは4年ごとに(3年おきに)開かれる。)

○ second = the sixtieth part of a minute

ℓ. 5 ◇ Take me over there. 「私をあそこまで連れて行って」 → 「あそこまでお願いします」

○ take = move something or someone from one place to another

◇ lady: used for talking about a women

○ Some people think this use is polite but other people think it is old-fashioned and prefer to use "woman."

ℓ. 7 ◇ be afraid to ... = be reluctant to ... out of fear

○ afraid に不定詞が続く場合は、原則として主語の意志でコントロールできる動作を表し、不定詞の代わりに of ...ing としても意味はほぼ同じ。自分の意味ではコントロールできない不意の事柄には動名詞を用いる。盲点

cf. He is *afraid to travel* alone. ≡ He is *afraid of traveling* alone.

(怖くて1人で旅行できない。)

I *was afraid of hurting* her pride.

(彼女の誇りを傷付けないかと心配だった。)

ℓ. 8 ◇ I am three-quarters of an hour late.

○ three-quarters of an hour は「45分のみ」の意を表す副詞相当語句。

○ quarter = 1/4; a fourth part; one of four equal parts

◇ I said that I would meet that young man for lunch at one o'clock.

「私は、1時に昼食のためにあの青年と会おうと言った」 → 「あそこに見える青年と1時に昼食の約束をした」

ℓ. 9 ◇ it is now a quarter to two 「もう2時15分前だ」

○ now = at the present time; at this moment

○ quarter = a point of time, 15 minutes before or after an hour

○ to = (in telling times) before

ℓ. 10 ◇ it will at least seem as if I have tried not to be too late.

○ It seems as if [as though] 「まるで~のようだ。」

○ as if [as though] の節中では仮定法を用いるのが原則とされるが、直説法を用いることも多い。

cf. It seems *as if* I have been here before.

(まるで前にここへ来たことがあるような気がした。)

It seems *as if* another typhoon will hit Japan soon.

(まもなく別の台風が日本を襲う気配だ。)

添削課題

解答例

When people use mobile phones while on a train, the other passengers are disturbed by phones ringing and loud talking. Moreover, people's lives may even be threatened because the pacemakers worn by some people with heart trouble may malfunction when mobile phones are used nearby. Therefore, the use of mobile phones should be strictly regulated in public places. [58 words]

解説

Most students were able to express clear opinions about the topic, which is an everyday issue and not difficult to comment on. Below are model answers addressing the most commonly mentioned problems related to cell phones.

When making generalizations, it is most common and natural to use plural forms.

Using mobile phones while driving is dangerous.

The singular is also possible.

A person who uses a mobile phone (while on the phone) is disturbing those around him.

However, the plural is easier to use smoothly and consistently. Also, many people now object to the gender bias reflected in the example above, where "him" is used to refer to a person whose sex is not known.

One common mistake was using "with" instead of "while."

- People should not talk on the phone *while* driving.
- × People should not talk on the phone *with* driving.



会員番号	
------	--

氏名	
----	--